

# リスクモンスター株式会社

(東証第二部 : 3768)

## 2017年3月期 決算補足資料



2017年5月17日

1. 2017年3月期 重点施策・取り組み (P.2)	21. 企業概要 (P.22)
2. 決算サマリー (P.3)	【補足】『リスモン調べ』のご紹介 (P.23)
3. 業績推移(四半期) (P.4)	【補足】東京証券取引所市場第二部へ市場変更 (P.24)
4. 連結セグメント別業績 (売上高) (P.5)	【補足】『リスモン業界レポート』のご紹介 (P.25)
5. 連結セグメント別業績 (利益) (P.6)	【補足】『ポートフォリオサービスWeb管理機能』のご紹介 (P.26)
6. 与信管理サービス等 業績 (P.7)	【補足】『リスクモンスター共済サービス』のご紹介 (P.27)
7. ビジネスポータルサイト 業績 (P.8)	【補足】『与信のミカタ』のご紹介 (P.28)
8. BPOサービス 業績 (P.9)	【補足】『名館長クラウド』のご紹介 (P.29)
9. その他サービス 業績 (P.10)	【補足】『J-MOTTOファイル共有サービス』のご紹介 (P.30)
10. 会員数推移(四半期) (P.11)	【補足】事務所移転のお知らせ (P.31)
11. 連結貸借対照表 (P.12)	IRに関するお問合せ (P.32)
12. RM財務格付による財務分析 ① (P.13)	
13. RM財務格付による財務分析 ② (P.14)	
14. 連結キャッシュ・フロー (P.15)	
15. 企業理念と長期ビジョン(P.16)	
16. 『第5次中期経営計画(2016～2018年度)』全体的な基本方針 (P.17)	
17. 『第5次中期経営計画(2016～2018年度)』事業別の基本方針 (P.18)	
18. 2018年3月期 業績予想 (P.19)	
19. 株主のための施策 ① (P.20)	
20. 株主のための施策 ② (P.21)	



# 1. 2017年3月期 重点施策・取り組み

1Q

2Q

3Q

4Q

『Japan IT Week春 第7回 クラウド  
コンピューティングEXPO』  
リスクモンスターグループ共同出展

eラーニング『5S活動実践講座  
(映像版)』リリース

リスモン業界レポート第6弾  
「不動産賃貸・管理業」掲載

リスモン業界レポート第9弾  
「道路貨物運送業」掲載

eラーニング『社会人なら知っておき  
たい ビジネスマナー』リリース

『ポートフォリオサービス  
Web管理機能』リリース

図書館総合管理システム  
『名館長クラウド』リリース

与信管理体制評価型取引信用保険  
「与信のミカタ」取り扱い開始

『リスモン業界レポート』リリース  
第1弾「非鉄金属製造業」掲載

リスモン業界レポート第3弾  
「情報サービス業」掲載

会社案内  
『リスモンちゃんねる2016冬』配信

リスモン業界レポート第10弾  
「飲食店」掲載

格付ロジック 改定

リスモン業界レポート第4弾  
「化学工業」掲載

リスモン業界レポート第7弾  
「輸送用機械器具製造業」掲載

eラーニング 接客・受付担当者向け  
28コース リリース

リスモン業界レポート第2弾  
「繊維・衣服等卸売業」掲載

リスモンフィンテックサービス第1弾  
『リスクモンスター共済サービス』  
リリース

格付ロジック 改定

新刊「事例にみる信用取引トラブル  
解決集」出版

最新版『会社紹介』配信

東京証券取引所市場第二部へ  
市場変更

eラーニング『派遣スタッフのための  
安全衛生』リリース

リスモン業界レポート第11弾  
「生産用機械器具製造業」掲載

会社案内  
『リスモンちゃんねる2016夏』配信

リスモン業界レポート第5弾  
「総合工事業」掲載

リスモン業界レポート第8弾  
「機械器具卸売業」掲載

自己株式の取得

当社株式が貸借銘柄に選定

リスモン調べ 随時 調査結果発表

	2016年3月期	2017年3月期	増 減	前期比
売上高	2,570,320 千円	2,686,740 千円	116,420 千円	104.5 %
営業利益	297,054 千円	381,651 千円	84,597 千円	128.5 %
経常利益	316,367 千円	386,715 千円	70,347 千円	122.2 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	200,995 千円	247,938 千円	46,943 千円	123.4 %
1株当たり当期純利益(EPS)	50.41 円	62.82 円	12.41 円	124.6 %
会員数	10,405 ID	10,838 ID	433 ID	104.2 %
自己資本当期純利益率(ROE)	5.2 %	6.1 %	0.9 ポイント	117.3 %

### ◆売上高

与信管理サービス等、ビジネスポータルサイト(グループウェアサービス等)ならびに教育関連事業等を含むその他サービスが堅調に推移し、前期を上回りました。

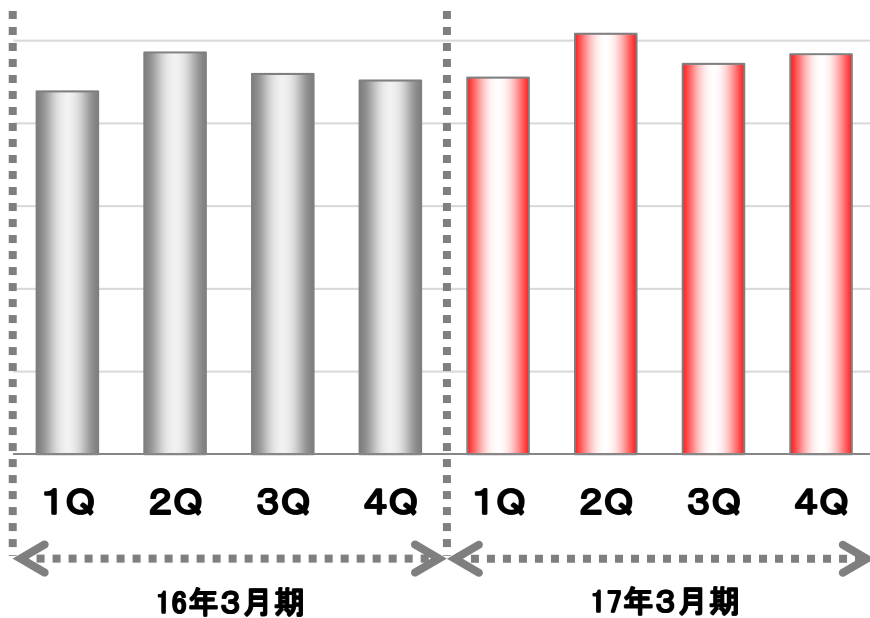
### ◆利益

利益率が高いASP・クラウドサービスが順調に推移したことに加え、本社移転によるグループ機能の集約によって業務の効率化が進み固定費が削減されたこと等から、前期を上回りました。

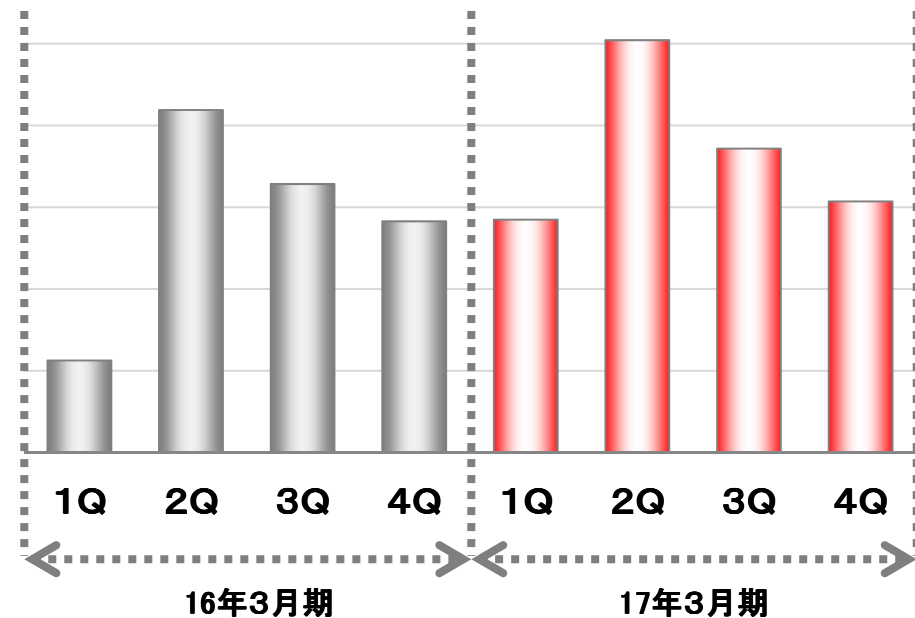
(単位 : 千円)

2016年3月期	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	614,080	680,078	643,670	632,489
営業利益	29,275	108,889	85,371	73,517
2017年3月期	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	637,440	711,639	660,631	677,028
営業利益	74,050	131,117	96,630	79,853

## 売上高



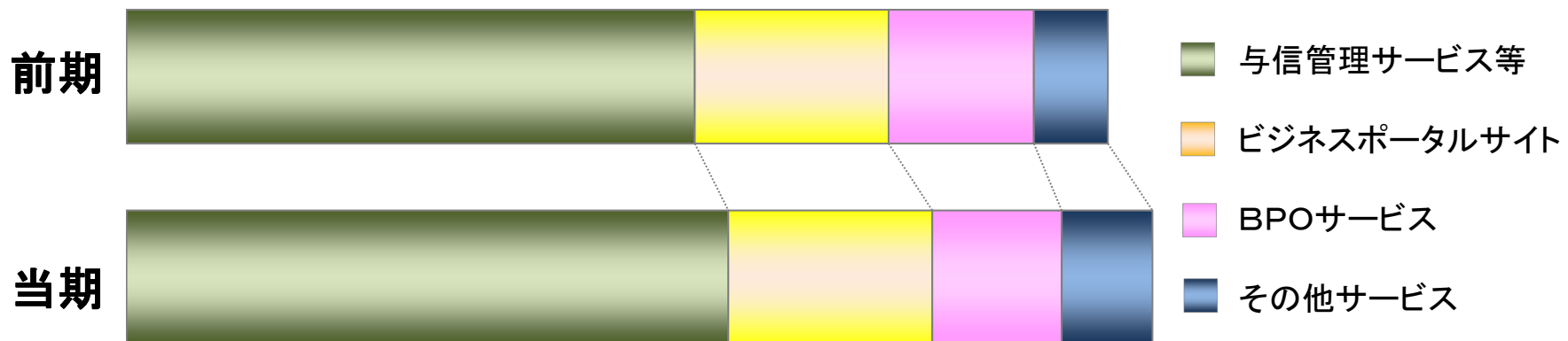
## 営業利益



（単位：千円）

	2016年3月期	2017年3月期	増減額	前期比
与信管理サービス等	1,565,014	1,657,411	92,397	105.9%
ビジネスポータルサイト	533,682	561,617	27,934	105.2%
BPOサービス	400,061	356,305	△43,755	89.1%
その他サービス	203,781	250,011	46,229	122.7%
調整額（注）	△132,220	△138,605	△6,385	—
<b>売上高 計</b>	<b>2,570,320</b>	<b>2,686,740</b>	<b>116,420</b>	<b>104.5%</b>

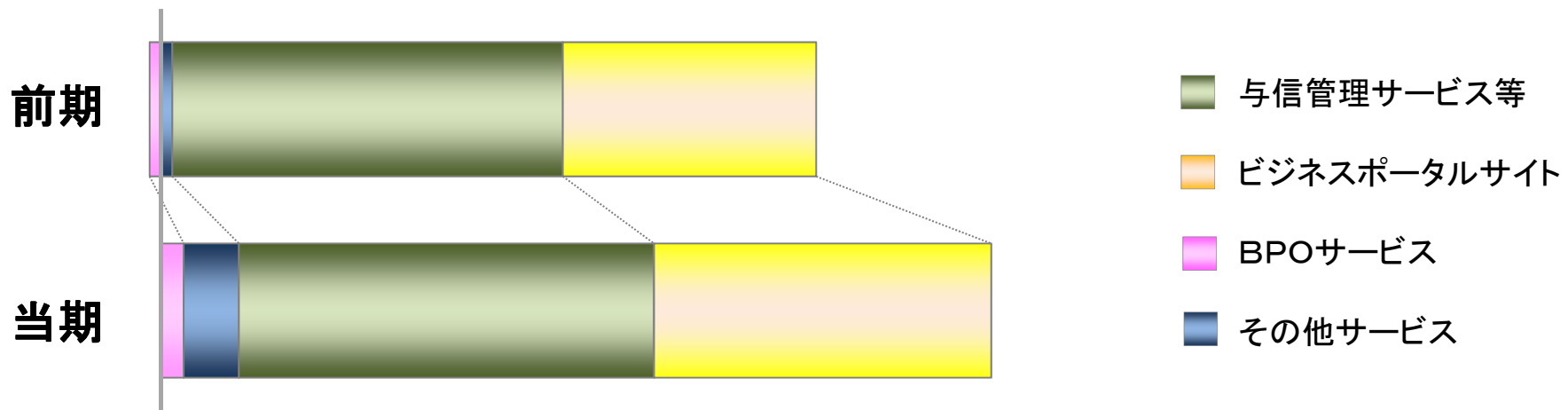
（注）調整額は、セグメント間取引消去であります。



（単位：千円）

	2016年3月期	2017年3月期	増減額	前期比
与信管理サービス等	221,570	235,535	13,964	106.3%
ビジネスポータルサイト	143,763	191,364	47,601	133.1%
BPOサービス	△6,527	12,808	19,336	—
その他サービス	6,371	31,343	24,971	491.9%
調整額（注）	△68,122	△89,400	△21,277	—
<b>セグメント利益 計</b>	<b>297,054</b>	<b>381,651</b>	<b>84,597</b>	<b>128.5%</b>

（注）調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。



(単位 : 千円)

	2016年3月期	2017年3月期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス (注1)	1,309,259	1,375,815	66,555	105.1%
コンサルティングサービス (注2)	255,754	281,595	25,841	110.1%
<b>売上高 計</b>	<b>1,565,014</b>	<b>1,657,411</b>	<b>92,397</b>	<b>105.9%</b>
<b>セグメント利益</b>	<b>221,570</b>	<b>235,535</b>	<b>13,964</b>	<b>106.3%</b>
<b>会員数 (ID) (注3)</b>	<b>5,223</b>	<b>5,541</b>	<b>318</b>	<b>106.1%</b>

(注1) 当社が独自に開発したシステム「RM2 Navi System」を利用して、企業信用情報提供会社の有する約300万社の企業情報の信用力を定量化し、インターネット経由で与信情報を提供するサービス

(注2) 「金融サービス」等を含むその他サービス

(注3) インターネット等を介して与信管理サービスを利用できる会員及び提携先とのサービス相互連携を行う提携会員の合計

## ◆売上高

与信管理サービス等のASP・クラウドサービスにおいて、会員数の増加や、従量制サービスの利用が順調に推移したことに加え、コンサルティングサービスにおいて、ポートフォリオサービスの受注単価及び件数がともに増加したことに伴い、前期を上回りました。

## ◆セグメント利益

ASP・クラウドサービス及びコンサルティングサービスともに順調で、前期を上回りました。





# 7.ビジネスポータルサイト 業績

(単位 : 千円)

	2016年3月期	2017年3月期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス (注1)	486,305	513,524	27,218	105.6%
その他 (注2)	47,376	48,092	715	101.5%
<b>売上高 計</b>	<b>533,682</b>	<b>561,617</b>	<b>27,934</b>	<b>105.2%</b>
<b>セグメント利益</b>	<b>143,763</b>	<b>191,364</b>	<b>47,601</b>	<b>133.1%</b>
<b>会員数 (ID) (注3)</b>	<b>3,098</b>	<b>3,039</b>	<b>△59</b>	<b>98.1%</b>
<b>ユーザー数</b>	<b>127,122</b>	<b>127,915</b>	<b>793</b>	<b>100.6%</b>

(注1) インターネットを活用したグループウェアを中心として提供する中堅・中小企業向けビジネスポータルサイト「J-MOTTO(ジェイモット)」を利用できる会員向けサービス

(注2) ホスティングサービス等を含むその他サービス

(注3) 「J-MOTTO(ジェイモット)」を利用できる会員及びユーザー数

## ◆売上高

ディスク容量の利用が堅調に推移したこと等により、前期を上回りました。

## ◆セグメント利益

売上高と同様、ディスク容量の利用が堅調に推移したこと等により、前期を上回りました。



## 8. BPOサービス 業績

(単位 : 千円)

	2016年3月期	2017年3月期	増減額	前期比
デジタルデータ化等 BPOサービス	400,061	356,305	△43,755	89.1%
売上高 計	400,061	356,305	△43,755	89.1%
セグメント利益	△6,527	12,808	19,336	—

### ◆売上高

前年の上期に粗利率の低い大型案件が終了したことに伴い、売上高は前期に比べ減少いたしました。

### ◆セグメント利益

売上高は減少したものの、粗利率の低い案件が終了したことに伴い、利益率が改善いたしました。

(単位 : 千円)

	2016年3月期	2017年3月期	増減額	前期比
「教育関連事業」等を含む その他サービス	203,781	250,011	46,229	122.7%
<b>売上高 計</b>	203,781	250,011	46,229	122.7%
<b>セグメント利益</b>	6,371	31,343	24,971	491.9%
<b>会員数(ID)</b> (注)	2,084	2,258	174	108.3%

(注) 定額制の社員研修サービス「サイバックスUniv.」または中国におけるグループウェアサービス等を利用できる会員の合計

### ◆売上高

定額制の社員研修サービス「サイバックスUniv.」の会員数が1,578会員となり順調に推移いたしました。  
利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)が運営する中国におけるグループウェアサービス等の会員数は680会員となりました。

### ◆セグメント利益

定額制の社員研修サービス「サイバックスUniv.」の会員数増加に伴いセグメント利益も順調に推移いたしました。

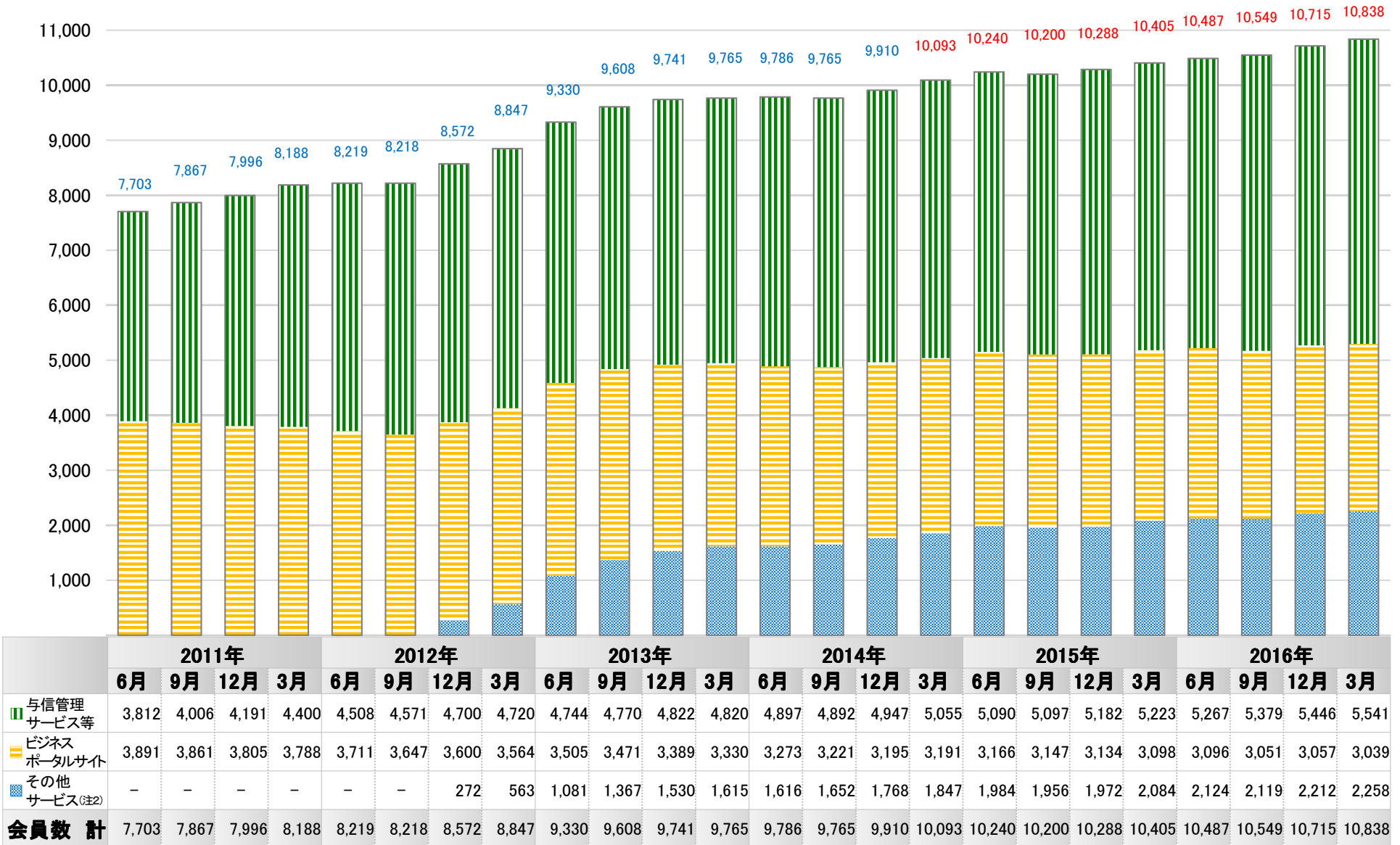


# 10. 会員数推移(四半期)



< 2017年3月期 決算補足資料 >

(単位 : ID)



(注1) 上記は重複登録している会員が一部あります。

(注2) 定額制の社員研修サービス「サイバックスUniv.」または中国におけるグループウェアサービス等を利用できる会員の合計

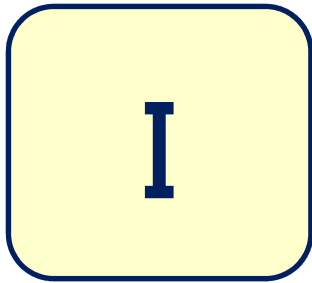
(単位 : 千円)

	2016年3月期	2017年3月期	増減額	前期比
流動資産	2,410,788	2,570,229	159,440	106.6%
固定資産	2,496,953	2,698,912	201,958	108.1%
<b>資産合計</b>	4,907,741	5,269,141	361,399	107.4%
流動負債	331,202	526,243	195,040	158.9%
固定負債	545,733	516,664	△29,068	94.7%
<b>負債合計</b>	876,935	1,042,908	165,972	118.9%
純資産	4,030,806	4,226,233	195,427	104.8%
<b>負債・純資産合計</b>	4,907,741	5,269,141	361,399	107.4%
<b>自己資本比率</b>	81.1%	79.1%	—	—
<b>1株当たり純資産(BPS)</b>	1,008.97円	1,059.87円	50.90円	105.0%
<b>株価純資産倍率(PBR)</b>	0.61倍	0.97倍	—	—

自己資本比率は79.1%と高水準を維持しております。

## リスクモンスターグループ の評価 (東証第二部:3768)

【RM財務格付】  
2017年3月期



【RM財務格付定義】

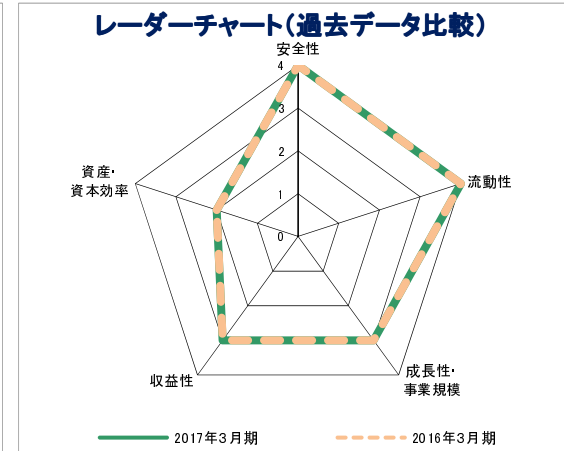
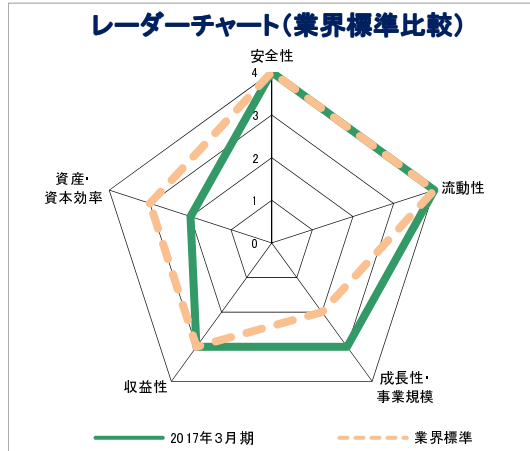
- I … 財務内容は良好です。
- II … 財務内容は概ね良好です。
- III … 財務内容にやや懸念があります。
- IV … 財務内容に大きな懸念があります。

【想定倒産確率】

- I … 0.1%
- II … 0.5%
- III … 1.0%
- IV … 3.0%

【RM財務格付履歴】

2017年3月期	2016年3月期	2015年3月期	2014年3月期
I	I	I	I
2013年3月期	2012年3月期	2011年3月期	2010年3月期
I	I	I	I
2009年3月期	2008年3月期	2007年3月期	2006年3月期
I	I	I	I



安全性	2017年3月期	☆ ☆ ☆ ☆
	2016年3月期	☆ ☆ ☆ ☆
自己資本比率	☆ ☆ ☆ ☆	
実質自己資本比率	☆ ☆ ☆ ☆	
借入金利率	☆ ☆ ☆ ☆	
借入返済年数	☆ ☆ ☆ ☆	

流動性	2017年3月期	☆ ☆ ☆ ☆
	2016年3月期	☆ ☆ ☆ ☆
流動比率	☆ ☆ ☆ ☆	
当座比率	☆ ☆ ☆ ☆	
現預金回転期間	☆ ☆ ☆ ☆	
手形割引率		

収益性	2017年3月期	☆ ☆ ☆
	2016年3月期	☆ ☆ ☆
売上高経常利益率	☆ ☆ ☆ ☆	
経常収支比率	☆ ☆ ☆ ☆	
ROA(総資産利益率)	☆ ☆	

成長性・事業規模	2017年3月期	☆ ☆ ☆
	2016年3月期	☆ ☆ ☆
売上高増減率	☆ ☆	
売上高規模	☆ ☆ ☆	
経常利益増減率	☆ ☆ ☆ ☆	

資産・資本効率	2017年3月期	☆ ☆
	2016年3月期	☆ ☆
売掛債権回転期間	☆ ☆ ☆	
棚卸資産回転期間	☆ ☆ ☆	
総資産回転率	☆	

※実質自己資本比率とは、資産のうち不良性の恐れのある金額を自己資本から控除した上で算出した自己資本比率です。

※☆☆☆☆(良い)~☆(悪い)にて表示しています。  
☆が表示されない項目は、評価対象外です。  
評価対象外となることで、コメントが表示されない場合があります。

<b>総合評価</b>	財政状態は良好で、財務面においては高い信用力を有しているため、不安はありません。
安全性	資本調達力は安定しており、借入償還能力も高い状態であるため、安定性の高い資金繰りが見込まれます。
流動性	十分な当座資産を有しており、資金調達力も見込まれることから、高い決済能力を有しています。
収益性	利益効率が良好であり、事業による現金創出力を有しているため、相応の収益力を有しているといえます。
成長性・事業規模	一定水準の売上規模を有しており、収益力も向上しているため、相応の収益基盤を有しているといえます。
資産・資本効率	資産内容は概ね健全であるものの、資産効率が低水準にあるため、保有資産の稼働状態を確認することをお勧めします。

当社グループの2017年3月期連結決算におけるRM財務格付は、I～IVの4段階中、最高位の「I」となった。その分析内容に関する所見は、以下のとおりである。

### 【貸借対照表】

グループ連結の財政状態については、自己資本比率が前年度81.1%から2.0ポイント低下の79.1%となったものの、利益剰余金は208百万円の積み増しがなされており、非常に高い安全性水準を維持している。

流動性に関しては、流動比率488.4%(前期比239.5ポイント低下)、当座比率475.0%(同232.6ポイント低下)と、前年度に比べると大幅な低下となっているものの、引き続き高い水準を維持しており、現預金残高においては2,031百万円と前年度から更なる増加により、月商の9.1ヵ月分を有しているなど、依然として十分な資金繰り余力を有している。

総じて、十分な支払能力を有しており、特段の懸念もない財政状態と思料される。

### 【損益計算書】

連結売上高においては、前年度比104.5%の増収推移となった。これは、主力サービスである与信管理サービス事業における売上高が105.9%の増収推移となったほか、ビジネスポータルサイト(グループウェアサービス等)事業で105.2%、「教育関連事業」等を含むその他サービス事業で122.7%とそれぞれ増収推移となったことが要因である。本業を中心に概ね堅調に推移しており、グループ全体としては安定的な推移を保っているといえる。

一方で、利益面においては、連結決算の粗利率が前年度54.1%から56.1%に改善されたことを主因に、売上高営業利益率14.2%(2.6ポイント上昇)、売上高経常利益率14.4%(2.1ポイント上昇)、売上高当期純利益率9.5%(1.5ポイント上昇)と各利益段階において増益基調で推移している。収益効率は、非常に高い水準にあることから、今後も引き続き収益確保に懸念は少ないものと考えられる。

連結決算における資産効率について考察すると、従来改善の余地が指摘されていたROAIにおいて収益効率の改善によって、4.9%と0.7ポイント上昇し、改善が見られている。効果的な投資によって、財務体質の改善が図られているといえよう。

(単位 : 千円)

	2016年3月期	2017年3月期	増減額
営業活動	419,452	709,619	290,166
投資活動	△382,296	△377,131	5,164
財務活動	△186,407	△192,588	△6,181
現金に係る 換算差額	△3,297	△2,075	1,221
<b>現金増減額</b>	△152,548	<b>137,823</b>	290,371
現期首残金高	2,045,092	1,892,544	△152,548
現期末残金高	1,892,544	2,030,367	137,823

### ◆営業活動

税金等調整前当期純利益	385,097
減価償却費	294,067
法人税等の支払額	△64,596

### ◆投資活動

投資有価証券の取得による支出	△157,090
有形固定資産の取得による支出	△25,959
無形固定資産の取得による支出	△236,689

### ◆財務活動

自己株式の処分による収入	109,620
自己株式の取得による支出	△201,905
長期借入金の返済による支出	△60,160
配当金の支払額	△39,345



## リスクモンスター企業理念

顧客を大切にして共に繁栄しよう  
プロフェッショナリズムを繁栄の源泉にしよう

長期ビジョン **RismonG-20** 策定 (2016年～2020年)

[ キーワード ]

**一人前の会社になる**

1. 与信管理業界におけるリーダーとなる。
2. ホワイトカラーの高齢化、空洞化への対応の中で、お客様が競争力を発揮できるようなサービスを提供する。
3. 既存事業の収益を安定成長させながら、継続的な利益を確保すると同時に安定配当の基盤をつくる。
4. 新規事業、海外事業に積極的に挑戦する。

「第5次 中期経営計画(2016年～2018年度)」策定



- ◆ 長期ビジョン(2011～2015)を継続
- ◆ 経常利益、ROE等について具体的な目標設定

## ① 事業規模

既存事業の安定的な成長に加えて国内外の事業投資を拡大し、安定的な事業規模を目指す。

## ② 投資

営業キャッシュ・フロー内での運用の中で既存サービスの品質及び顧客満足度を高める投資やセキュリティ強化の投資を行うとともに、新サービスに積極的に投資をする。

## ③ 資本業務提携

当社グループの中長期的戦略に合致し、企業価値向上に資することが見込まれる案件について引き続き資本業務提携を検討する。

## ④ 株主還元

配当性向30%、総還元性向60%を目安に継続的かつ安定的な配当を目指す。

		方針	狙い
<b>① 与信管理サービス事業</b> 	BPOサービス事業での業務請負運営ノウハウ及びシステムの管理運営ノウハウを総合する。	会社設立来標榜する「あなたの会社のe-審査部」(与信管理アウトソーシング事業)となり、与信管理業界におけるリーダーを目指す。	
	収益性の安定成長を最優先課題とし、独自データベースの構築やソフトウェア投資水準の適正化により固定費を圧縮する。	限界利益率の向上を図る。	
<b>② ビジネスポータル事業</b> 	事業の核であるグループウェアは広く一般的に利用されているソフトウェア及びハードウェアとの連携を強化する。	安定成長を目指す。	
	ポータル事業としての深化と強化を実現する。	サービスの浸透度を深める。	
<b>③ BPOサービス事業</b> 	国内外センター再編を実現し、採算管理及び納期管理を徹底する。	グループ全体のコスト削減に貢献する。	
	業務請負からコンサルサービスへ転換する。	グループのシナジー効果を追求する。	
<b>④ その他事業</b> 	◆ 教育関連事業 新規開発投資の継続と事業の挺入れを行う。	継続的に利益が出る事業基盤づくりに注力する。	
	◆ 海外事業 グループ商材の海外での拡販やシステム受託を進める。		
	◆ 新規事業 周辺サービス、フィンテック企業との連携など新規事業につながるアライアンスや資本提携を積極的に行う。		

(単位 : 百万円)

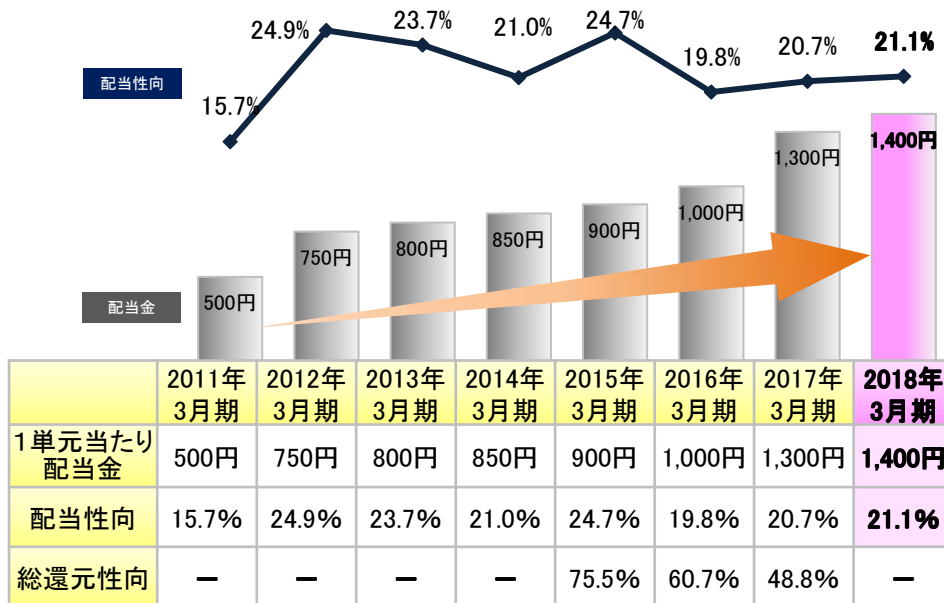
	2017年3月期 実績	2018年3月期 予想	増減額	前期比
売上高	2,686	2,800	113	104.2%
営業利益	381	395	13	103.5%
経常利益	386	400	13	103.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	247	255	7	102.8%
1株当たり 当期純利益(EPS)	62.82円	66.20円	3.38円	105.4%

2017年3月期は、2016年4月にスタートした長期ビジョン「RismonG-20」及びそのマイルストーンである「第5次中期経営計画(2016~2018年度)」の2017年度利益水準を1年前倒しで達成いたしました。

2018年3月期につきましても、1年前倒しで達成すべく、グループ一丸となって取り組んでまいります。

## 株主還元

- ◆ 当連結会計年度は1単元当たり1,300円(1株当たり普通配当12.0円 記念配当1.0円)の配当予定。
- ◆ 株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして位置付け、今後も継続的かつ安定的な配当の実施を目指す。
- ◆ 当長期ビジョン中に配当性向30%、総還元性向60%を目標とする。
- ◆ 2018年3月期は、1単元当たり1,400円(1株当たり14.0円)の増配予想。



(注) 1単元 = 100株

## 株主優待のご案内

毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された株主様のうち、**6ヶ月以上当社株式を保有されており、かつ、300株以上の当社株式を保有する株主様を対象**にお好きな商品または寄付を1点お選びいただく株主優待を実施いたします。

保有期間	6ヶ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
所有株式数	当社指定 商品	1,500円 相当	2,000円 相当
300株		2,000円 相当	3,000円 相当
500株		3,000円 相当	4,000円 相当
1,000株			

## 自己株式について

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため、2017年3月15日開催の取締役会にて自己株式の取得を決議いたしました。

### 2017年3月15日開催 取締役会における決議内容

- ◆ 取得対象株式の種類 : 当社普通株式
- ◆ 取得し得る株式の総数 : 165,000 株 (上限)
- ◆ 株式の取得価額の総額 : 150,000,000 円 (上限)
- ◆ 取得期間 : 2017年3月16日～2017年6月30日

### 2017年3月度 自己株式の取得状況

- ◆ 取得した株式の総数 : 70,000 株 (上限に対する進捗: 42.4%)
- ◆ 取得価額の総額 : 69,908,300 円 (上限に対する進捗: 46.6%)

尚、本件により取得する自己株式につきましては、2017年9月末までに消却する予定です。

## 第17回 定時株主総会

2017年6月27日に第17回定時株主総会を開催いたします。

昨年に引き続き、株主総会と各部門担当による事業説明会を実施予定です。

リスモンオリジナルグッズのお土産をご用意して皆様のご来場をお待ちしております。



<第16回 株主総会の様子>

## リスモンちゃんねる 配信

いつでもインターネットで閲覧  
することができる  
「リスモンちゃんねる」で当社の  
IR動画を配信しております。



リスモンちゃんねる 2016 夏  
撮影の様子



リスモンちゃんねる 2016 冬  
撮影の様子



## 21.企業概要

(2017年3月末時点)

<p>商 号 リスクモンスター株式会社</p> <p>設 立 2000年9月</p> <p>代 表 者 代表取締役社長 藤本 太一</p> <p>資 本 金 1,155,993千円</p> <p>従 業 員 数 112名(連結) 84名(単体)</p> <p>株 主 株式会社東京商工リサーチ 株式会社日本M&amp;Aセンター 藤本 太一 株式会社エヌアイデイ 株式会社オービックビジネスコンサルタント リスクモンスター株式会社 テクマトリックス株式会社 ほか</p>	<p>主 事 業 内 容 与信管理サービス等 ビジネスポータルサイト BPOサービス その他サービス(教育関連事業等)</p> <p>所 在 地 (本社) 東京都中央区日本橋2-16-5 RMGビル (大阪支社) 大阪府中央区今橋2-5-8 トレードピア淀屋橋8F (名古屋営業所) 名古屋市中村区名駅4-23-13 名古屋大同生命ビル12F (九州営業所) 福岡市博多区博多駅前4-4-15 博多駅前H44ビル4F</p> <p>連 結 子 会 社 リスモン・ビジネス・ポータル株式会社 リスモン・マッスル・データ株式会社 日本アウトソース株式会社 サイバックス株式会社 利墨(上海)商務信息咨询有限公司</p> <p>株 式 市 場 東京証券取引所市場第二部 証券コード 3768</p>
---	--



※ 2017年5月に名古屋営業所を移転しました。  
(新住所)名古屋市中村区名駅4-26-13 ちとせビル6階

## リスモン調べ 調査実績

第2回  
『就職したい  
企業・業種ランキング』  
調査結果発表  
(2016.05.09)

第4回  
『世界に誇れる  
日本企業』  
調査結果発表  
(2016.05.27)

第4回  
『独創性を感じる  
日本企業』  
調査結果発表  
(2016.06.24)

第5回  
『格付ロジック改定による  
RM格付変動の影響』  
調査結果発表  
(2016.07.26)

第4回  
『金持ち  
企業ランキング』  
調査結果発表  
(2016.07.29)

第2回  
『大学1、2年生が  
就職したいと思う  
企業・業種ランキング』  
調査結果発表  
(2016.08.26)

第3回  
『100年後も生き残る  
と思う日本企業』  
調査結果発表  
(2016.09.30)

第1回  
『合コンしたいと思う  
企業ランキング』  
調査結果発表  
(2016.10.28)

第1回  
『ナルシスト  
企業ランキング』  
調査結果発表  
(2016.11.25)

第3回  
『企業の取引リスクに  
対する意識』  
調査結果発表  
(2016.12.26)

第6回  
『この企業に勤める人と  
結婚したいランキング』  
調査結果発表  
(2016.12.27)

第5回  
『お子さん／お孫さんに  
勤めてほしい  
企業ランキング』  
調査結果発表  
(2017.01.27)

第6回  
『格付ロジック改定による  
RM格付変動の影響』  
調査結果発表  
(2017.01.31)

第4回  
『仕事・会社に対する  
満足度』  
調査結果発表  
(2017.02.24)

第4回  
『10年間高格付を  
維持している優良企業』  
調査結果発表  
(2017.02.28)

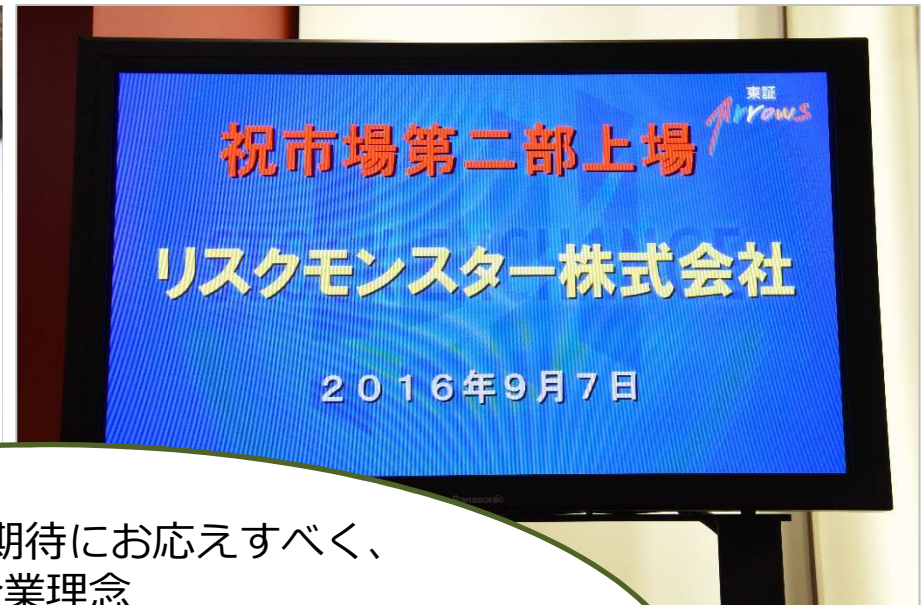
第3回  
『就職したい  
企業・業種ランキング』  
調査結果発表  
(2017.03.24)

リスモン調べとはリスモンが独自に調査するレポートです。計16件の調査結果を発表しました。



## ■ 東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)から同取引所市場第二部へ市場変更

2016年9月7日、当社の株式は、東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)から同取引所市場第二部へ市場変更いたしました。



今後も皆様のご期待にお応えすべく、  
企業理念

『顧客を大切にして共に繁栄しよう』

『プロフェッショナリズムを繁栄の源泉にしよう』

を基に、更なる業容の拡大と企業価値の向上を  
目指す所存でございますので、引き続き変わらぬご支援を  
賜りますようお願い申し上げます。



## リスクモンスター株式会社

### ■ リスモン業界レポート

2016年5月より、業界ごとの市場概要や業界動向、与信管理のポイントなどをレポートにまとめた「リスモン業界レポート」の提供を開始いたしました。

### ■ 主な特徴

「リスモン業界レポート」は、総務省が定めた「日本標準産業分類」の中分類(99業種)ごとに、市場概要や業界動向、財務指標分析を行い、業界特性に合わせた「与信管理のポイント」を提供するものです。

業界ごと特有のビジネスモデルや今後のトレンドを把握することができ、業界における取引の方向性や与信管理の重点方針を決定いただく際の参考にしていただくことができます。

自社の取引先の業界分析の資料として、是非、ご活用ください。



リスクモンスター  
ホームページ  
に公開中！！



＜ 画面イメージ ＞

## リスクモンスター株式会社

### ■ ポートフォリオサービスWeb管理機能

2016年7月より、リスクモニターのサービスサイトにて、「ポートフォリオサービス」の納品データを出力や、データ更新後の最新の格付で納品データを更新することができる、「ポートフォリオサービスWeb管理機能」の提供を開始いたしました。

### ■ 主な特徴

「ポートフォリオサービス」は、会員様から取引先のリストをお預かりし、倒産確率に裏づけされた「RM格付」と安全な取引金額である「RM与信限度額」を提供するサービスです。

これまで「ポートフォリオサービス」の納品は、印刷物やCDメディアによるデータ納品となっておりますが、「ポートフォリオサービスWeb管理機能」のリリースにより、サービスサイトでの出力や最新格付での更新が可能になり、過去データの管理やデータ更新に対応することが可能になりました。

ポートフォリオサービス				
納品日	種別	ポートフォリオ分析資料	お取引先一覧	ポートフォリオ分析更新
2016/07/11	初回	出力	出力	申請済

サービスサイトより、ポートフォリオサービスの納品データが出力できます。

また、納品翌月の月初5営業日に限り、「申請」ボタンからポートフォリオの更新申請が可能です。



ポートフォリオサービス				
納品日	種別	ポートフォリオ分析資料	お取引先一覧	ポートフォリオ分析更新
2016/07/11	初回	出力	出力	申請済
	更新	出力	出力	

最新格付に更新されたデータがサイト上に掲載され、出力が可能になります。



<リスク分散状況の把握 資料>

<取引リスクの全体分析、定量化 資料>

## リスクモンスター株式会社

### ■ フィンテックサービス第1弾 『リスクモンスター共済サービス』

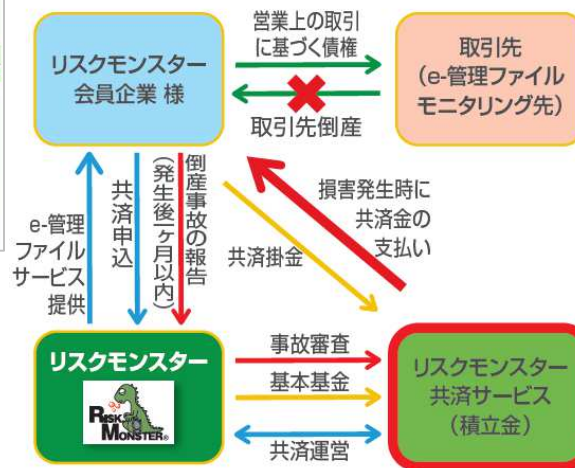
2016年8月より、「リスモンフィンテックサービス第1弾」として、取引先のアラート検知ツールとして提供しております「e-管理ファイル」にモニタリング登録された取引先を対象に、その倒産時の焦付に対し、月額1万円の掛金で最大500万円の共済金をお支払いする『リスクモンスター共済サービス』の提供を開始いたしました。

### ■ 主な特徴

『リスクモンスター共済サービス』は、「e-管理ファイル」にモニタリング登録された取引先で、リスモンにて取引を推奨するRM格付A～D格の企業が倒産した場合に回収困難となった売掛債権等に対し、最大500万円の共済金をお支払いするサービスです。



＜ e-管理ファイル ＞



＜ 取引の流れ ＞

共済金の原資となる共済積立金には、開始時にリスモンより1,000万円を拠出いたします！！

料金	
	・1口 10,000円/月
RM格付	1口あたりの支払い限度額
A	500万円
B	300万円
C	100万円
D	50万円

※E格、F格およびG格は対象となりません。



男気

## リスクモンスター株式会社

### ■ 与信管理体制評価型取引信用保険『与信のミカタ』の取り扱い開始

与信管理ASPクラウドサービスを提供するリスクモンスター株式会社は、このたび、日立キャピタル損害保険株式会社(本社:東京都千代田区、取締役社長:三浦一也、以下HCI社)の与信管理体制評価型取引信用保険「与信のミカタ」(以下 本サービス)の取り扱いを開始いたしました。

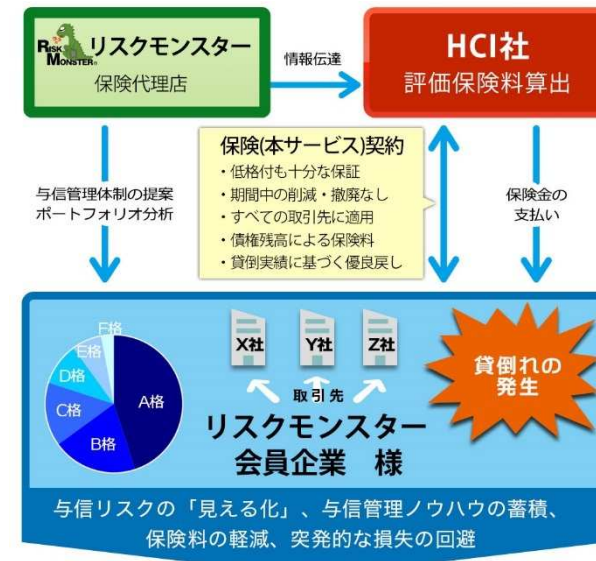
取引信用保険とは、取引先の倒産などによって販売代金を回収できなくなった場合に、その損害の一定部分について保険会社が保険金を支払うことで補償するものです。しかし、一般的な取引信用保険は、信用力の低い取引先は保険対象とならない、保険期間中に取引先の信用力に著しい変化があると対象から外れることがある、保険に頼ることで自社の与信管理ノウハウが蓄積されないなどの課題があります。

本サービスは、これらの課題に対応し、信用力の低い先を加えた取引先全体に保証枠を設定することが可能となる、保険期間中の保証枠の見直しを原則行わないなどの特長があり、また、高度な与信管理体制を構築・運用している企業であれば、その体制や過去の貸倒実績などを考慮した優遇料率が適用されるタイプの取引信用保険です。

### ■ 主な特徴

- 与信管理体制、過去の貸倒実績を評価し、保険料率が決定されます。  
与信管理ルールを整備・運用状況が優良であれば、保険料率が安くなります。
- 取引先の「RM格付」に基づいて保険料率が算出されます。  
RM格付で運用していれば算出が迅速です。高格付先が多い場合は保険料率が低下します。
- RM格付ごとの「RM推奨限度額」の上限の2倍まで保証枠を設定することができます。  
低格付先も十分な保証枠を確保します。特定先に特別枠を設定することも可能です。
- 特別枠を設けた先を除き、保険期間中の保証枠の削減・撤廃は行いません。  
保険期間中は安心して取引ができ、余計な事務負担が発生しません。
- 保険期間が開始した後に発生した取引先についても補償いたします。  
すべての取引先に適用されますので、新規開拓する営業活動を阻害しません。
- 毎月通知された債権残高に保険料率を掛けることで保険料が確定します。  
取引額が少なくなった場合でも保険料の支払いに無駄が生じません。
- 1年の保険期間で貸倒実績が少なかった場合、保険料の優良戻しが行われます。  
与信管理への努力の結果により実質的な保険料負担を引き下げることが期待できます。

### ■ 本サービスの仕組み



**リスクに強い会社へ**

承認番号[Hb295-17-0009] 2017年05月17日

## 日本アウトソース株式会社

### ■ 図書館総合管理システム『名館長クラウド』

2016年11月、25年以上の実績を誇る図書館総合管理システム「名館長」シリーズのクラウド版である「名館長クラウド」の提供を開始いたしました。

### ■ 主な特徴

図書室、資料室での図書をはじめとする様々な資料の貸出管理、資料検索、利用統計管理、蔵書点検(棚卸し)など、幅広く支援する図書館総合管理システム「名館長」シリーズをクラウド化したサービスです。

サービスを運用するパソコンにアプリケーションをインストールすることなく、インターネットの環境があれば、簡単にサービスの利用ができます。データは日本アウトソースのセキュアなデータセンターにて保存されますので、サーバの保守管理は不要で、不正アクセスから個人情報や蔵書データを守ります。

### ■ 機能紹介

(1) 資料検索	高速日本語全文検索エンジンによる検索で、瞬時に検索結果が得られます。1つのキーワードを入力するだけで行える簡易検索や、書誌情報の主要項目と、所蔵データのローカル情報を含めた複合条件で検索ができる詳細検索があります。
(2) 利用者管理	図書館を利用する利用者の登録を行ないます。利用者検索の結果から、利用者データの編集、削除をする事や、貸出状況、予約状況の確認できます。
(3) 資料管理	図書館に所蔵している書籍の登録を行ないます。書誌データは国立国会図書館サーチとの連携によりISBNで検索を行ないダウンロードしたデータをそのまま登録する事ができます。
(4) 窓口管理	書籍の貸出、返却、予約などを行ないます。貸出、予約などの利用状況から貸出延滞している書籍や、予約していた書籍が貸出可能になった場合に利用者に向けて督促メール、予約連絡メールを配信する事ができます。
(5) 図書館管理	図書館の情報と、図書館の運用に関する情報の登録を行ないます。利用者向けトップページに表示される休刊日やお知らせメッセージ、利用者案内などの登録ができます。利用者の権限に応じた表示メニューの設定や、貸出可能冊数、貸出期間などの運用上のルールを設定する事ができます。利用者登録、資料登録などで入力作業を軽減する為に、特定の項目をマスタ管理して登録することができます。



＜ 画面イメージ ＞

リスモン・ビジネス・ポータル株式会社

## ■ オンラインストレージサービス 『 J-MOTTOファイル共有サービス 』

2017年1月より、新サービス「J-MOTTOファイル共有サービス」を提供開始いたしました。社内はもちろん、社外とも安全にファイルを共有することができるASP・クラウド型のサービスです。オンラインストレージのように手軽に利用できるだけでなく、ファイル管理機能も兼ね備えています。

### ■ 主な特徴

#### ポイント①

端末ごとにアプリのインストールは不要、ブラウザで利用でき、グループウェアからのアクセスも可能です。

#### ポイント②

普段使っているパソコンと同様の表示のため、直感的に操作でき、オフィス系ソフトのファイルも直接編集できます。

#### ポイント③

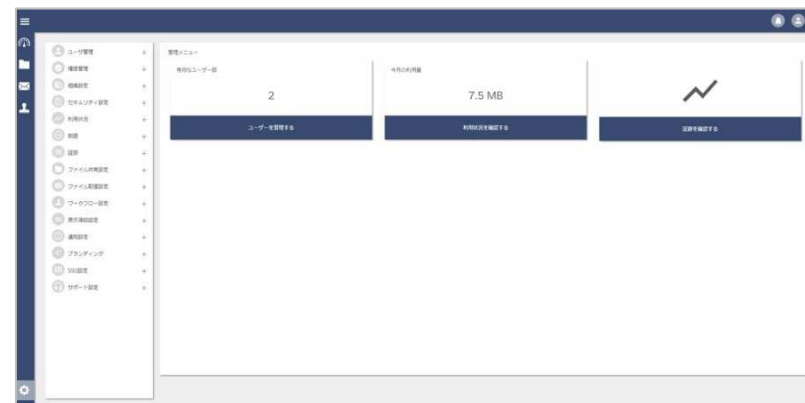
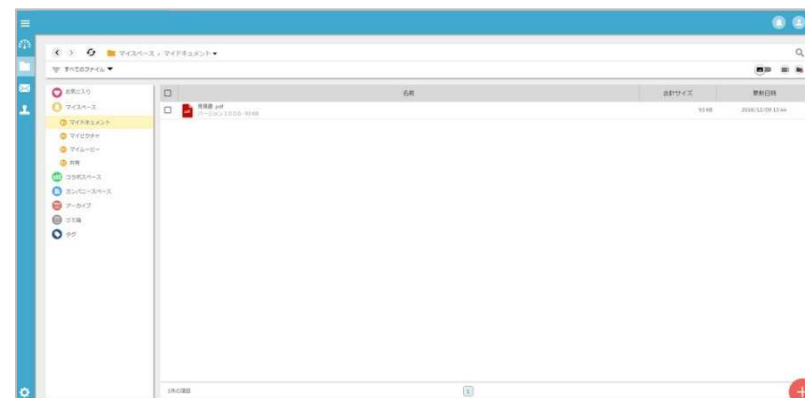
ファイルの閲覧や編集の権限を一人ひとり細かく設定することができます。

#### ポイント④

ファイルに対して「いつ、誰が、何をしたか」を自動的に記録。証跡管理ができます。

#### ポイント⑤

大容量の領域を確保。ファイル保管の社内利用だけでなく、社外に対して大きなファイルを安全に送ることができます。



< 画面イメージ >

## リスクモンスター株式会社 利墨(上海)商務信息咨询有限公司

### ■ リスクモンスター株式会社 名古屋営業所 オフィス移転のお知らせ

当社名古屋営業所は事務所を移転し、2017年5月1日(月)より営業を開始いたしました。

お客様へのサービス提供をより一層充実させてまいります。  
なお移転に伴う電話番号・FAX番号の変更はございません。

(新住所)

〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-26-13 ちとせビル6階  
Tel:052-569-2650



### ■ 利墨(上海)商務信息咨询有限公司 オフィス移転のお知らせ

中国企業信用調査と中国語版クラウド型グループウェアサービスを提供する利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)は、事務所を上海国際貿易中心に移し、2017年3月13日(月)より営業を開始いたしました。これを機に一層業務に邁進してまいります。

(新住所)

〒200336 上海市長寧区延安西路2201号 上海国際貿易中心266室  
Tel : 021-5238-0701





<http://www.riskmonster.co.jp>

【IRに関するお問い合わせ】

TEL : 03-6214-0352 (IR専用ダイヤル)  
FAX : 03-6214-0431  
Mail : [ir@riskmonster.co.jp](mailto:ir@riskmonster.co.jp)



【グループ会社ホームページ】

リスモン・ビジネス・ポータル株式会社 <https://www.j-motto.co.jp>

リスモン・マッスル・データ株式会社 <http://www.outsource.co.jp>  
日本アウトソース株式会社

サイバックス株式会社 <http://www.cybaxuniv.jp>

利墨(上海)商務信息咨询有限公司 <http://www.rismon.com.cn>



Human Upgrading Company



日本アウトソース株式会社

